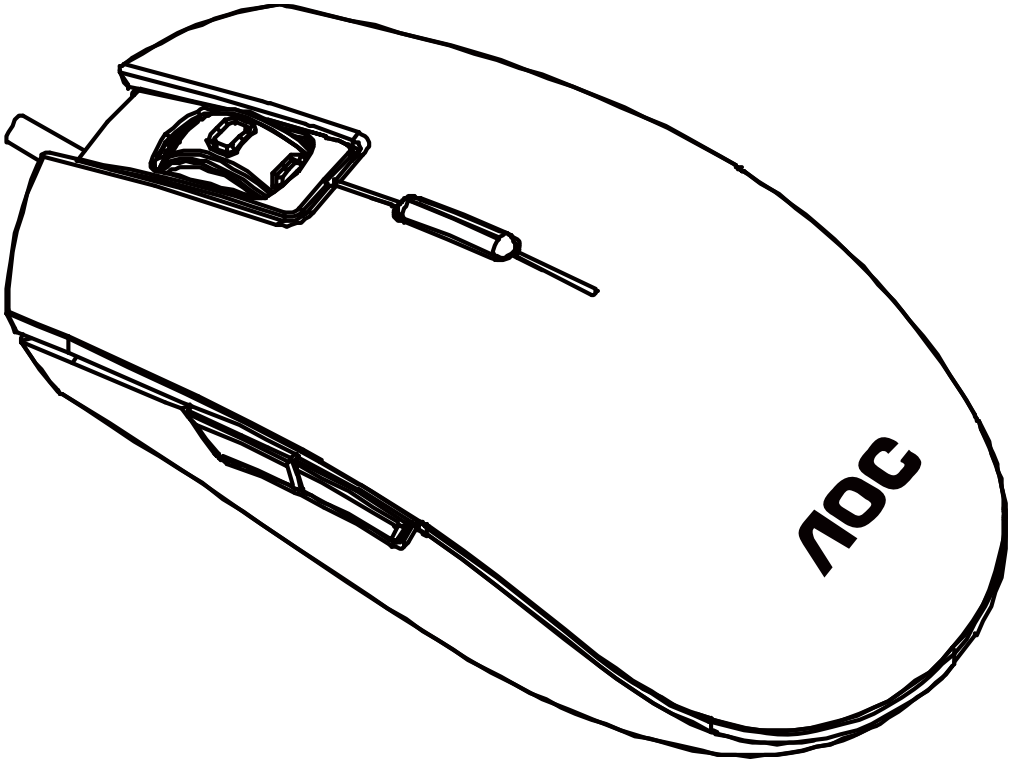
AOC GM500 RGB ゲーミングマウス

ユーザーガイド
バージョン：1.00



注意：本製品を正しく使用するには、設置する前にユーザーズガイドをお読みください。

目次

1. パッケージ内容/システム要件 1
2. 仕様 1
3. デバイスのレイアウト 2
4. AOC G-TOOLS のインストール 3
5. AOC G-TOOLS の紹介 4
6. 安全ガイドとメンテナンス 13

パッケージ内容/システム要件

パッケージ内容

- AOC GM500 FPS ゲーミングマウス
- クイック設定ガイド

製品システム要件

- Windows® 7/8/8.1/10
  MAC OS X（V10.7 から 10.9）
- 利用可能な USB ポート
- 160MB のハードディスク空き容量
- インターネット接続

AOC G-Tools システム要件

- Windows®7 以降
- 160MB のハードディスク空き容量
- インターネット接続

技術サポート

- 2 年間の限定保証
- https://jp.aoc.com の無料オンラインテクニカルサポート

仕様

技術仕様

- 真の 5,000 DPI を備えた高度な光学センサー
- 切り替え可能な DPI - 800/1600/3200/5000/スマート DPI（デフォルトは 1600 DPI）
- 最大 100 インチ/秒（IPS）および 20G の加速
- 8 個のプログラム可能なボタン
- 交換可能な左と右のキー
- 最大 5000 万回のクリック寿命を持つ Omron メカニカルスイッチ
- 最大 1000 Hz/ミリ秒のレポートレート
- 右利き用と左利き用の対称設計
- 他の AOC ゲームデバイスと同期するカスタマイズ可能な RGB 照明効果
- 1.8 M 編組ケーブル

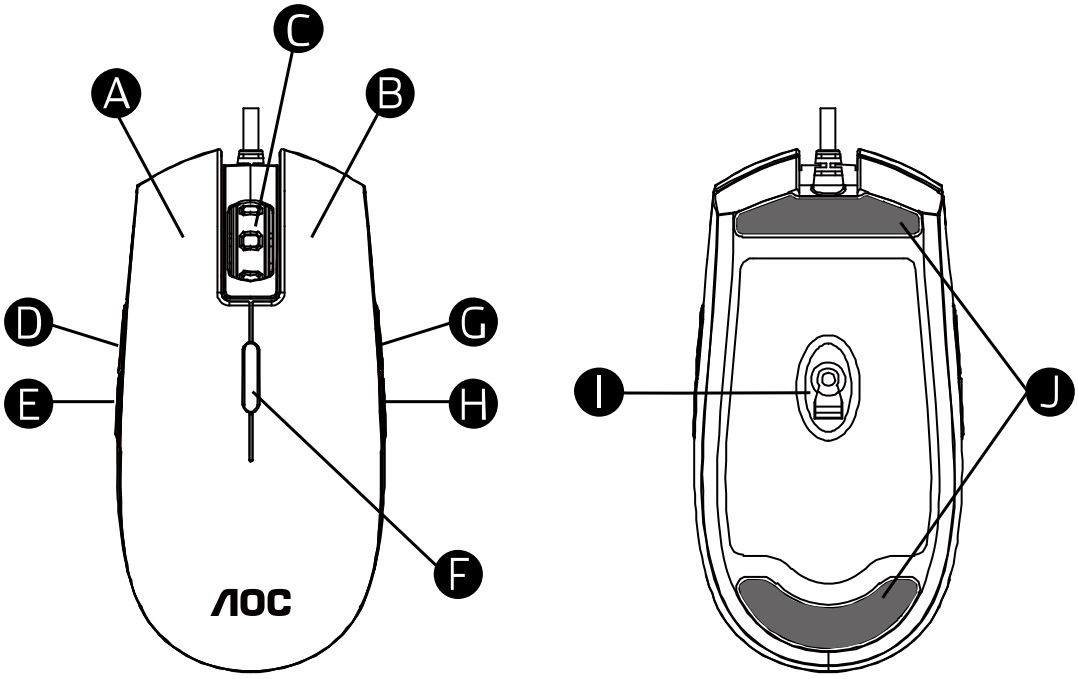
おおよそのサイズと重量

- 幅：63.42 mm/2.5 インチ
- 高さ：123.80 mm/4.9 インチ
- 奥行き：37.90 mm/1.54 インチ
- 重量：145 g/0.32 ポンド
- ケーブルの長さ：1.8 m/5.9 フィート

動作環境

- 動作温度 0 ° C（32 ° F）～40 ° C（104 ° F）
- 動作湿度 10 %～85 %

デバイスのレイアウト



A. 左ボタン
B. 右ボタン
C. 中ボタン/スクロールホイール
D. DPI シフト
E. WWW ホーム
F. DPI サイクル
G. ブラウザー前
H. ブラウザー後
I. 5,000 DPI 光学センサー
J. 滑らかなマウスフット

AOC G-TOOLS のインストール

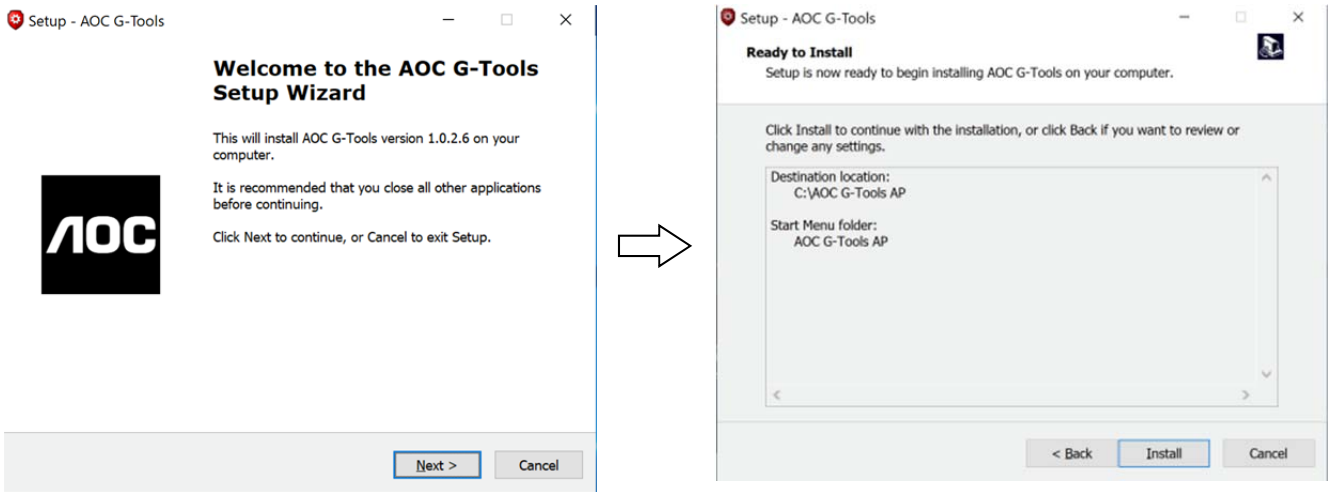
ステップ 1：デバイスをコンピューターの USB ポートに接続します。

ステップ 2：コンピューターのオペレーティングシステムが自動的にデバイスを検出します。

ステップ 3：AOC G-Tools をダウンロードします。https://jp.aoc.com にアクセスして、「AOC G-Tools」を検索します。

ステップ 4：ファイル「Setup.exe」をクリックして、インストールプロセスを開始します。

ステップ 5：Windows®は、インストールを続行するかどうかを尋ねてきますが、ドライバーをインストールしてください。



注：
ドライバーは、以前のバージョンのドライバーを自動的にアンインストールします。 このため、デバイスのプログラミングを開始する前に、ドライバーのインストールに時間がかかる場合があります。

ステップ 6：インストールプロセスが完了したら、コンピューターシステムを再起動してください。

ステップ 7：AOC G-Tools アイコンは、実行中に Windows®タスクバーに表示されます。AOCG-Tools アイコンを右クリックして、構成メニューにアクセスします。

AOC G-TOOLS の紹介

ゲームプロファイル管理

[Export(エクスポート)]ボタン をクリックして、カスタマイズしたプロファイルをエクスポートしたり、**[Import(インポート)]**ボタン をクリックして、コンピューターからプロファイルをインポートしたりできます。

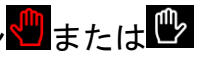
デフォルトのプロファイル名は、**Profile 1(プロファイル 1)**から **Profile 5(プロファイル 5)**です。Profile Name(プロファイル名)の下のテキストフィールドに入力して、プロファイル名を変更できます。

各ゲームプロファイルは 7 つのマクロキーをサポートし、デバイスのオンボードメモリは 1 つのプロファイルをサポートしているため、どこにでも持ち運ぶことができます。

各プロファイルは、リンクされたプログラムとともにアクティブ化できます。これを行うには、リンクするプログラムの実行可能パスを**[Path To Executable (*EXE)(実行可能形式(*EXE)へのパス]**テキスフィールドに入力してください。

Reset To Factory Default Settings(工場出荷時デフォルト設定へのリセット)
[GO(実行)]ボタンをクリックして、キーボードを工場出荷時デフォルト設定にリセットします。

ボタン

アイコン  またはをクリックして、左と右の方向を切り替えます。機能しているアイコンは赤で表示されます。 右向きがデフォルトとして設定されています。

番号の付いたボタンごとに、ドロップダウンメニューからアクションを割り当てることができます。ドロップダウンメニューに一覧表示されるオプションについて、以下で説明します。

- **Macro Manager(マクロマネージャー)**
  マクロとは、事前に記録された一連のキーストロークと正確なタイミングで実行されるボタン押下です。マクロをボタンに割り当てることで、複雑な組み合わせを簡単に実行できます。GM500 では、マクロを作成、削除、インポート、およびエクスポートできます。ドロップダウンメニューからこのオプションを選択すると、Macro Manager(マクロマネージャー)ウィンドウがポップアップします。ボタンの割り当てとして既存のマクロを選択するか、新しいマクロの記録を開始してボタンに割り当てることができます。後で割り当てを実行する場合は、右下隅の**[Macro Manager(マクロマネージャー)]**ボタンをクリックします。 Macro Manager(マクロマネージャー)ウィンドウに、次の操作が表示されます。

1.Create a Macro(マクロの作成)

(1) **+**をクリックして、記録するマクロに名前を付けます。キーボードの **Enter** キーを押して、名前を確認します。

(2) イベント間の遅延時間を設定します。

-Recording(記録)：イベント間の遅延は、記録されるときに登録されます。

-Fixed(固定)：遅延には、事前定義された時間（ミリ秒で表示）を使用します。

-Ignore(無視)：キーストロークとボタン押下の間のすべての一時停止を省略します。

(3) **[Start(スタート)**]ボタンをクリックして､すべてのキーストロークとマウスボタンコマンドをマクロに記録します。完了したら、**[Stop(停止)]**ボタンをクリックしてこの記録を完了します。

(4) この記録を破棄する場合は、**[Cancel(キャンセル)]**ボタンをクリックします。この記録を確認する場合は、**[OK]**ボタンをクリックします。正常に記録されたマクロは、**[Macro Select(マクロの選択)]** ドロップダウンリストに表示されます。

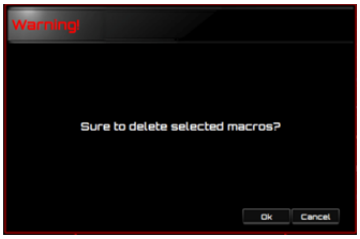
(5) 記録されたマクロについて、そのイベントシーケンスを削除または調整したり、別の記録セッションを開始して新しいイベントを追加したりできます。

> **注**：
> 各マクロキーは 64 個のアクション（32 キー）を記録できます。

2.Delete a Macro(マクロの削除)

削除するマクロを選択し、**[Trash Bin(ごみ箱)]ボタンをクリックします。**

確認メッセージポップアップウィンドウが表示されます。**[OK]**ボタンをクリックして、マクロを削除します。



3.Edit Delay(遅延の編集)

遅延時間を調整する場合は、変更するフィールドをダブルクリックして、新しい値を入力します。一部のゲームは、短い遅延を検出できない場合があります。

4.Delete Recorded Actions(記録されたアクションの削除)

マクロの 1 つまたは複数のアクションまたは遅延時間を削除する場合は、**[Trash Bin(ごみ箱)]**ボタンをクリックします。

5.Insert Macro Item(マクロアイテムの挿入)

+ボタンをクリックして、既存のマクロに別のマクロを挿入します。この新しいマクロを記録することを選択します。次に､**[Start(スタート)]**ボタンをクリックして記録を開始します。完了したら、**[Stop(停止)]**ボタンをクリックして、セッションを完了し、**[Save(保存)]**ボタンをクリックして、記録を維持します。選択したイベントの前後に遅延時間を挿入することもできます。目的の時間値を入力したら、**[Save(保存)]**ボタンをクリックします。

- **Multimedia(マルチメディア)**

Open Player(プレイヤーを開く)：メディアプレイヤーを開始します。

Pre Track(前トラック)：前のメディアトラックに切り替えます。

Next Track(次トラック)：次のメディアトラックに切り替えます。

Play/Pause(再生/一時停止)：メディアの再生と一時停止を切り替えます。
Stop(停止)：メディアの再生を停止します。
Mute(ミュート)：コンピューターのサウンドをミュート（オフにします）します。
Volume +(音量+)：コンピューターの音量を上げます。
Volume -(音量-)：コンピューターの音量を下げます。

- **DPI Switch(DPI スイッチ)**
  DPI Cycle(DPI サイクル)：G ツールの 5 つのオプションを切り替えます。
  DPI Up(DPI 上)：DPI を増やします。
  DPI Down(DPI 下)：DPI を減らします。
  DPI Shift(DPI シフト)：DPI は 400 に事前定義されています。

- **Window Management(ウィンドウ管理)**
  Calculator(電卓)：Microsoft 電卓を開始します。
  Email(メール)：デフォルトのメールプログラムを開始します。
  WWW Favorites(WWW お気に入り)：Internet Explorer のお気に入りを開きます。
  WWW Forward(WWW 後)：次の Web ページに移動します。
  WWW Back(WWW 前)：前の Web ページに移動します。
  WWW Stop(WWW 停止)：Web ページの読み込みを停止します。
  My Computer(マイコンピューター)：My Computer(マイコンピューター)ウィンドウを開きます（Windows10 PC の場合）。
  WWW Refresh(WWW 更新)：現在の Web ページを更新します。
  WWW Home(WWW ホーム)：デフォルトの Web ブラウザーを開始して、ホームページを読み込みます。
  WWW Search(WWW 検索)：Web ブラウザー検索バーに移動するか、Windows を検索します。
  Show Desktop(デスクトップの表示)：デスクトップと現在のビューを切り替えます。

- **Text Editor(テキストエディター)**
  次のテキストコマンドを利用できます：Cut(切り取り)、Copy(コピー)、Paste(貼り付け)、Undo(元に戻す)、Select All(すべて選択)、Find(検索)、New(新規)、Safe(安全)、Open(開く)。

- **Left Click(左クリック)**
  左クリックを行います。

- **Right Click(右クリック)**
  右クリックを行います。

- **Middle Click(中クリック)**
  汎用スクロール機能を有効にします。

- **ブラウザー後**
  一般的なインターネットブラウザーに対して、「戻る」コマンドを実行します。

- **ブラウザー前**
  一般的なインターネットブラウザーに対して、「戻る」コマンドを実行します。

- **Double-Click(ダブルクリック)**
  ダブルクリックを行います。

- **Fire Button(ファイヤーボタン)**
  離すまでファイヤーボタンを行います。

- **Assign a Shortcut(ショートカットの割り当て)**
  ショートカットの組み合わせを割り当てます。

- **Windows Key(Windows キー)**
  Windows メニューを開始します。

- **Smart Key(スマートキー)**
  ボタンにスマートキー機能を割り当てる場合、スマートキーを押しながら他のボタンを押すと、スマートキーはこのボタンの動作を継続的に繰り返します。

- **Button Off(ボタンオフ)**
  ボタンをオフに切り替えます。

Sensitivity(感度)

- **DPI Setting(DPI 設定)**
  必要に応じて、200～5000 の範囲の 4 セットの DPI 値を定義できます。設定した DPI 値は、DPI サイクル機能に適用されます。設定値が現在使用されている場合、赤で強調表示され、対応する LED の色がデバイスに表示されます。

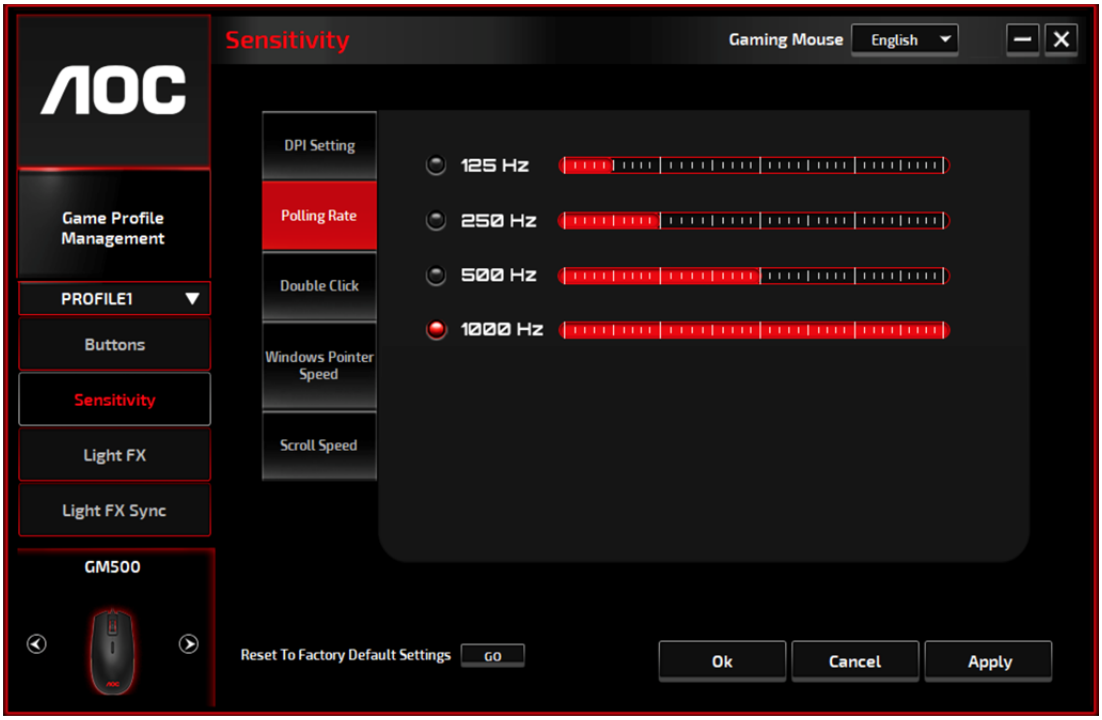
  デフォルト値は次のとおりです。

. DPI #1：800 DPI/赤 LED
. DPI #2：1600 DPI/オレンジ LED（デフォルト）
. DPI #3：3200 DPI/青 LED
. DPI #4：5000 DPI/緑 LED
. DPI #5：スマート DPI/紫 LED

DPI を切り替えると、GM500 のスクロールライトは対応する色を 5 秒間表示してから、使用中の照明効果を再開します。

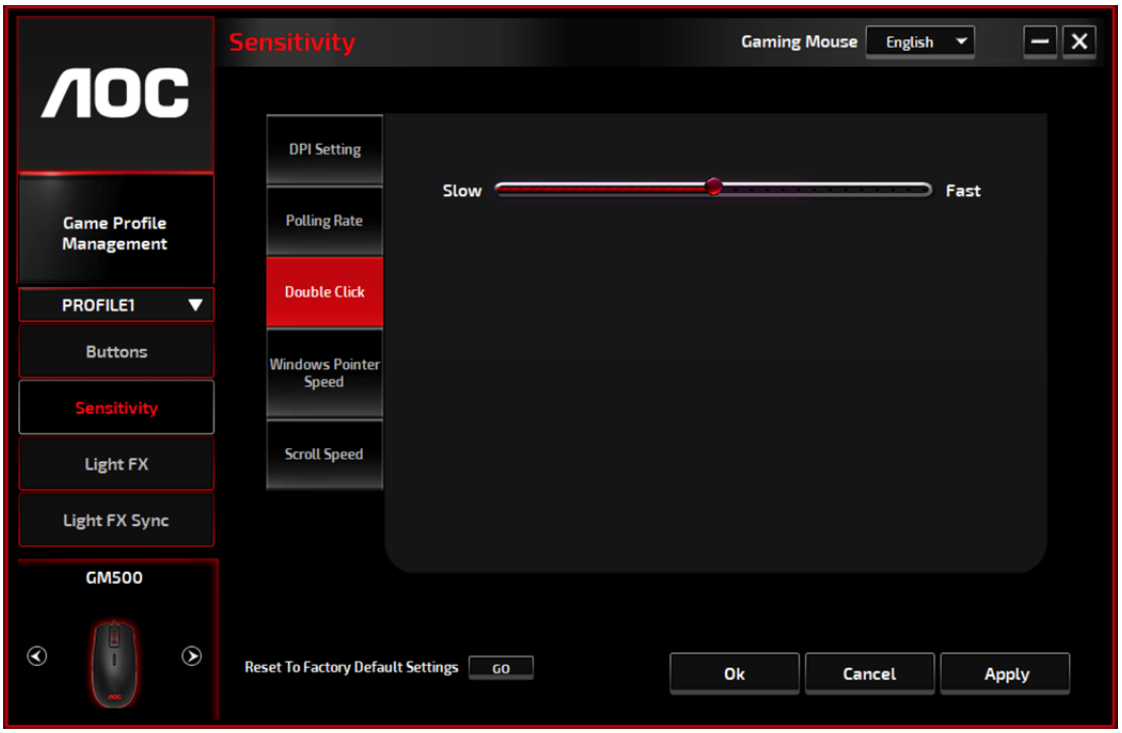
- **Polling Rate(ポーリングレート)**

  125Hz/8 ミリ秒、250Hz/4 ミリ秒、500Hz/2 ミリ秒、1000Hz/1 ミリ秒（デフォルト）の 4 つのポーリングレートから選択します。

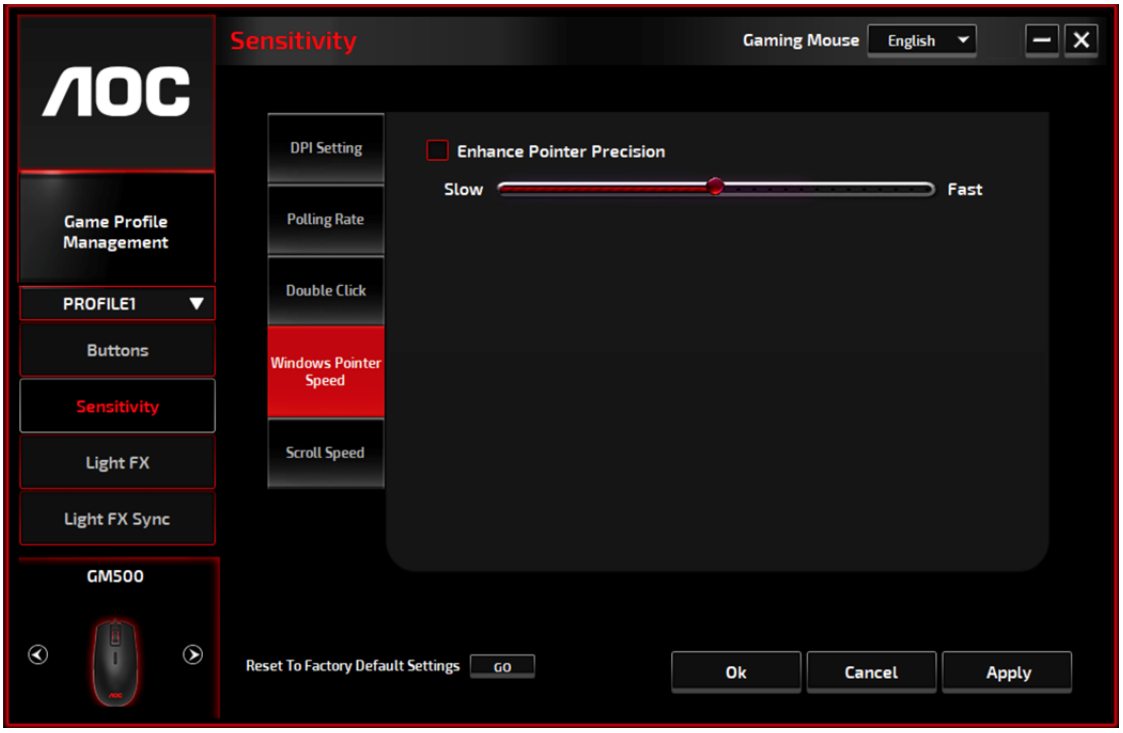


- **Double Click(ダブルクリック)**

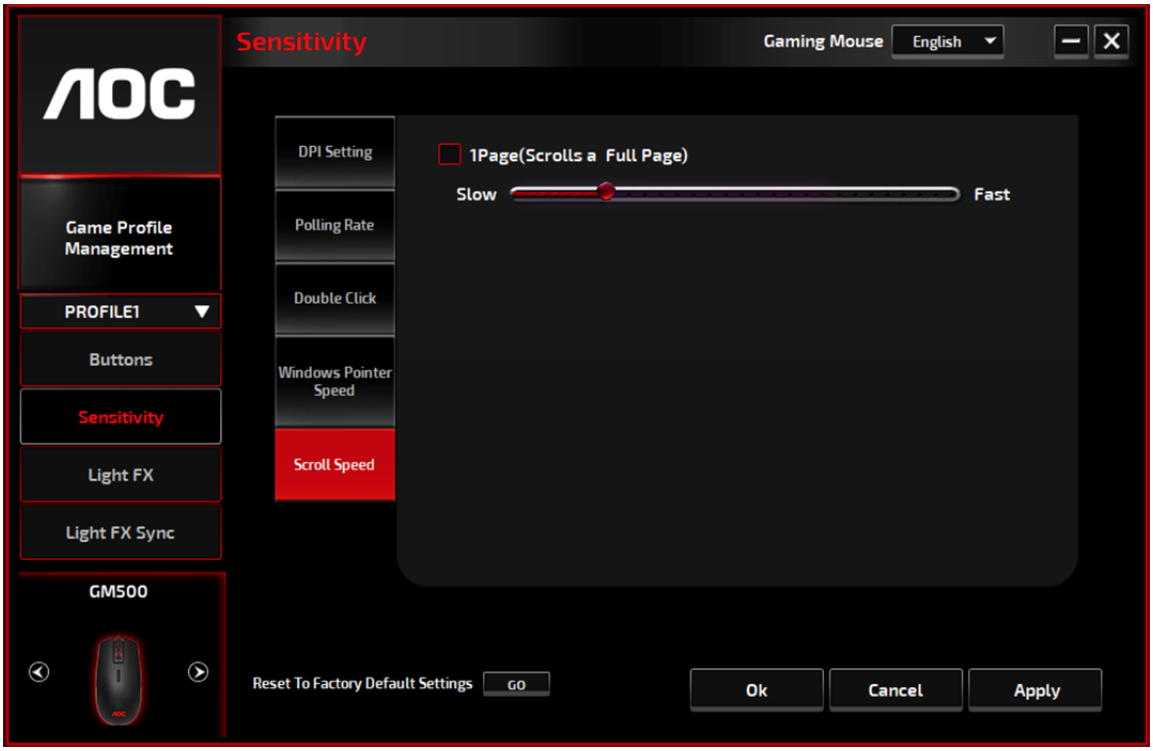
  スライダーバーのノブを左または右にドラッグして、ダブルクリックの速度を調整します。



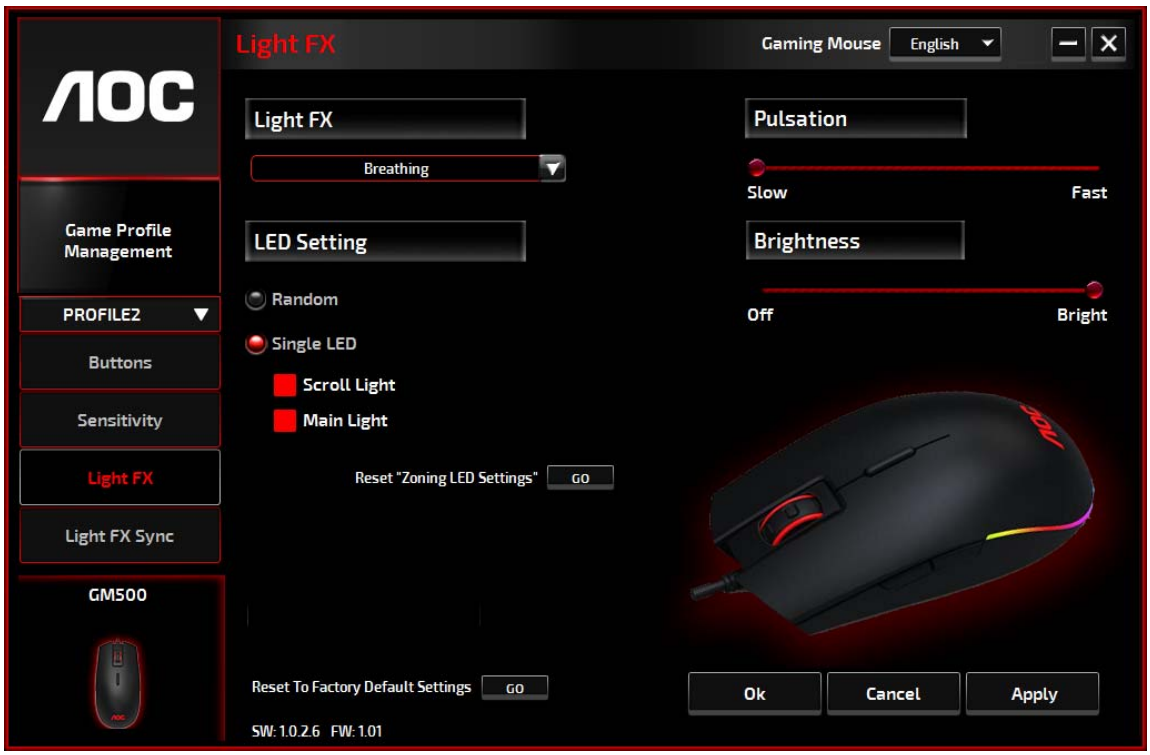
- **Windows Pointer Speed(Windows ポインター速度)**
  スライダーバーのノブを左または右にドラッグして、Windows ポインターの速度を調整します。設定した値は、Windows のコントロールパネルにも適用されます。デフォルト設定を維持することをお勧めします。



- **Scroll Speed(スクロール速度)**
  スライダーバーのノブを左または右にドラッグして、ドキュメントまたは Web ページを表示するスクロール速度を調整します。設定値をテストする場合は、**Apply(適用)**をクリックして、表示したときの動作を確認します。



Light FX(ライト FX)

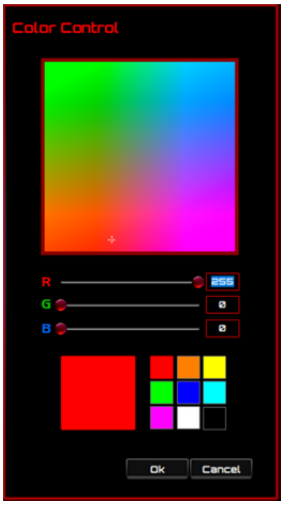


- **Light FX(ライト FX)**
  お気に入りのライト設定をドロップダウンメニューから選択します。オプションは次のとおりです：Static(静的)、Breathing(呼吸)、Blink(瞬き)、および DPI です。

- **LED Setting(LED 定)**
  ランダムまたは単一の LED 照明効果オプションを選択して、デバイスの継続的に変化する色または選択した RGB 色を設定します。デフォルトの照明設定に戻す場合は、「Zoning LED Settings(LED 設定のゾーン化)」のリセットの横にある**[GO(実行)]** ボタンを押します。

  ✓ Radom(ランダム)：
  照明の色は、12 の定義済み色の間で循環します。

  ✓ Single LED(単一 LED)：
  色を設定するには、Scroll Light/Main Light(スクロールライト/メインライト)の前にある色の四角をクリックします。Color Control(カラーコントロール)ウィンドウがポップアップします。RGB パネルの任意の場所をポイントして好きな色を設定するか、RGB 値を入力して色を定義します。Scroll Light(スクロールライト)の色設定は、Static(静的)、Breathing(呼吸)、および Blink(瞬き)効果で使用できます。



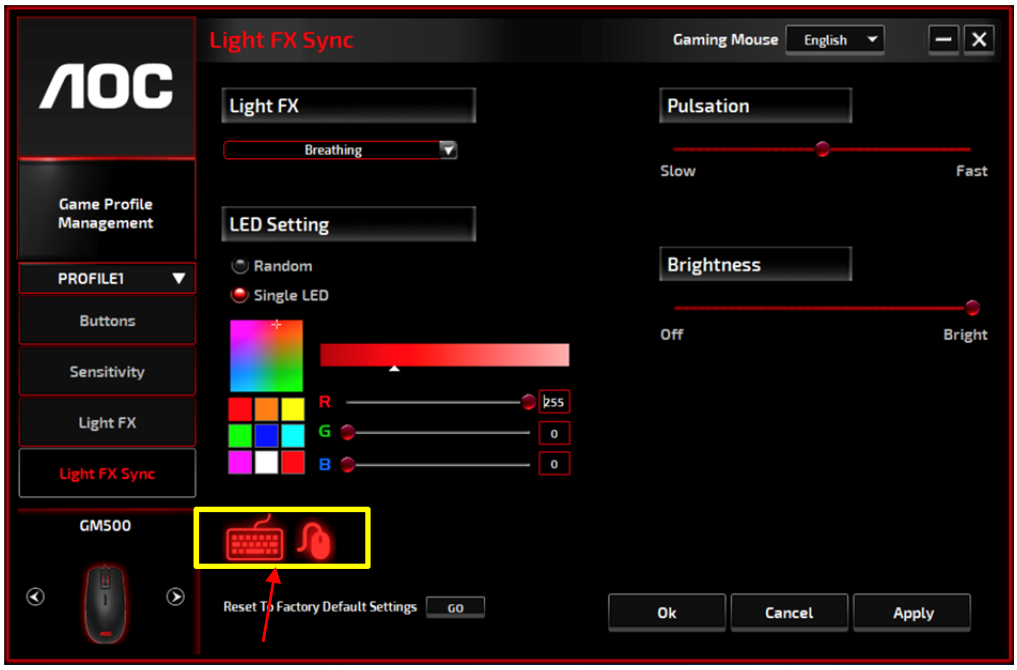
- **Direction(方向)**
  Flashing(点滅)照明効果には、メインライトを時計回りまたは反時計回りに表示するオプションもあります。Flashing(点滅)を選択すると、Direction(方向)の設定オプションが表示されます。

- **Pulsation(脈動)**
  スライダーバーのノブを左または右にドラッグして、照明効果の速度を設定します。Slow(低速)から Fast(高速)まで、3 つのオプションがあります。

- **Brightness(明るさ)**
  スライダーバーのノブを左または右にドラッグして、照明効果の明るさを設定します。照明の明るさには、Off(オフ)から Bright(明るい)まで 4 つのレベルがあります。この設定オプションは、すべての照明効果で使用できます。

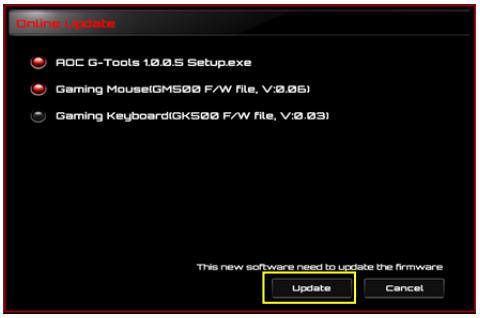
Light FX Sync(ライト FX 同期)

デバイスの照明効果は、AOC ライト FX 同期をサポートする他の AOC ゲームデバイスと同期できます。デバイスを同期する場合は、選択したデバイスのアイコンを選択し、**[Apply(適用)]**ボタンをクリックします。同期されたデバイスは赤で強調表示されます。



- **Reset To Factory Default Settings(工場出荷時デフォルト設定へのリセット)**
  [GO(実行)]ボタンをクリックして、デバイスを工場出荷時デフォルト設定にリセットします。

Online Update(オンライン更新)
利用可能な新しい更新プログラムがある場合、**Notice(通知)**バルーンがツールアイコンとともに右上隅に表示されます。



Notice(通知)バルーンをクリックすると、**Online Update(オンライン更新)**ポップアップウィンドウに更新オプションが表示されます。ダウンロードしてインストールする更新プログラムを選択します。**[Update(更新)]**ボタンをクリックして、更新プロセスを完了します。

安全ガイドとメンテナンス

重要

安全のため、デバイスに関する以下のガイドラインを注意深くお読みください。

1. 異常な状態でデバイスを操作しないでください。
2. デバイスのトラッキングビームを直接見たり、ビームを誰かの目に向けたりしないでください。トラッキングビームは肉眼では見えず、常時オンに設定されていることに注意してください。
3. デバイスを分解しないでください（これにより保証が無効になります）。異常な電流負荷で動作させないでください。
4. デバイスを液体や湿気に近づけないでください。指示された温度範囲内（0°C（32°F）から 40°C（104°F））でのみデバイスを操作してください。デバイスの温度が高すぎる場合は、デバイスのプラグを抜いて温度を下げてください。
5. RGB 照明が適切に動作していない場合、デバイスが機能していない場合、または異常な熱状況が発生している場合は、デバイスのプラグを抜き、プラグを差し込んで、デバイスのトラブルシューティングを行ってください。
6. トラブルシューティングプロセスで問題が解決しない場合は、デバイスからプラグを取り外し、https://jp.aoc.com にアクセスしてサポートを受けてください。デバイスを自分で修理しようとしないでください。

安全

連邦通信委員会の干渉に関する声明

このデバイスは、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は、次の 2 つの条件の対象となります。

(1) このデバイスは有害な干渉を引き起こしません。

(2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。

注：このデバイスはテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に基づくクラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅地での設置において、有害な干渉に対する妥当な保護を提供するように設計されています。このデバイスは、無線周波数エネルギーを生成および使用し、放射する可能性があります。指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置状況で干渉が発生しないという保証はありません。このデバイスがラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合は、デバイスの電源をオフにしてからオンにすることで判断できます。ユーザーは、次の方法で干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変えます。
- デバイスと受信機の距離を離します。
- 受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントにデバイスを接続します。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談します。